

0市債ノルテナがのエレベーター改修工事

設計図

特記仕様書

1.工事概要

1.工事場所長野市吉田三丁目

2.建物概要

建物名称	構造	階数	延べ面積(m ²)	消防法施行令別表第一	耐火構造	備考
ノルテナがの	RC	地下1階/13階	25,578.00	(15)	耐火	改修

3.工事種目(●印を付けたものを適用する)

建物別及び屋外	工事種別					
工事種目	ノルテナがの					屋外
○空気調和設備						
○換気設備						
○自動制御設備						
○衛生器具設備						
○給水設備						
○排水設備						
○給湯設備						
○消火設備						
○厨房設備						
○ガス設備						
○排水処理設備						
●撤去工事一式						
●昇降機設備一式						
○電気設備工事						
○建築工事						
○						
○						

4.指定部分○無有(○部分しゅん工●部分使用)1回目(令和8年8月下旬):エレベーター

5.工事内容

工事概要

本工事は、ノルテナがのエレベーターを改修するものである。
工事にあたっては、関係者と十分に打ち合わせを行い、施設運営に支障のないよう施工計画を立て、施工時に配慮すると共に安全管理に万全を期すること。
なお、契約約款10条第3項に規定する「現場代理人の常駐を要しないことができる」期間は、施設等に影響が出ないように打合せにより決定する。

1昇降機設備工事

1エレベーター設備

図示のとおり、昇降機設備を改修するもの。

2撤去工事

図示のとおり、撤去を行うもの。
なお、工事に伴う発生材については、請負者の責任において関係法令に則り適正処分すること。

II.工事仕様

1.共通仕様

(1)図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて長野市建設工事共通仕様書による。
(2)(1)及び国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「公共建築工事標準仕様書」、「公共建築改修工事標準仕様書」の建築工事編・電気設備工事編・機械設備工事編、及び「公共建築設備工事標準図」の電気設備工事編・機械設備工事編(いずれも最新版)で「特記がなければ、」以下に具体的な材料・工法・検査方法等を明示している場合において、それらが関係法令等(条例を含む)と異なる場合には、具体的な対応策について監督職員と協議すること。

2.特記仕様

(1)規則
本工事規則は特記あるものを除き、長野市契約規則及び工事請負契約書の記載事項による。
(2)責任保障
工事しゅん工引渡し後特記あるものを除き、工事の施工に起因した事故が生じた時は、木造建物及び工作物1年間(受注者の故意または重大な過失による場合、5年間)、木造以外の建物及び工作物2年間(同、10年間)以内に、期日を定め補修工事をし、工事監督職員の検査を受けること。
(3)一般注意事項
1)本工事における必要な諸手続等は原則として受注者において行うこと。
2)設計図面内の不一致及び明記なき箇所がある場合は、監督職員と協議の上その指示により施工のこと。
3)諸材料については必要に応じ見本品または現品を提出し、監督職員の承諾を受け施工のこと。ただし、JIS規格合格品等で工事係員がそれを確認できた場合はこの限りではない。
4)工事施工に際し必要な箇所は、各工事に先だし施工図を作成し、監督職員の承諾を受け施工のこと。
5)工事施工上必要ある箇所は、工事監督職員の指示により適当なる材料をもって養生を施し急硬急乾凍結破損の防止をすること。
6)工事受注者は、工事着手前に実施工程表及び各職種の協力業者名簿を提出し監督職員の承諾を得ること。
7)工事完了後検査不可能箇所の施工にあたっては、必要に応じ監督職員の立会いのもとに施工のこと。
8)諸職工その他に対して監督職員の指示に従わない者、または技術未熟練者は退場を命ずることがある。
9)工事完了後は速やかに工事現場内外の清掃、後片付け及び損傷箇所の復旧補修をし、監督職員の下検査合格後竣工検査を受けること。
10)工程写真、竣工写真を撮影し、アルバム各1部を提出すること。
写真撮影要領は国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「工事写真の撮り方」の建築設備編(最新版)による。
11)本工事受注者は必要に応じ工事的目的の建物を火災保険に付すること。
(4)経費
上記各事項に要する諸経費はすべて受注者において負担する。ただし、現及び製品検査の市係員の出張旅費は市負担とする。
(5)暴力団員等による不当介入を受けた場合の措置について
1)長野市が発注する建設工事(以下「発注工事」という。))において、暴力団員等による不当要求又は工事妨害(以下不当介入という。)を受けた場合は、断固としてこれを拒否すること。また、不当介入があった時点で速やかに警察に通報を行うとともに、捜査上必要な協力を行うこと。
2)1)により警察に通報を行うとともに、捜査上必要な協力を行った場合には、速やかにその内容を記載した書面により発注者に報告すること。
3)発注工事において、暴力団員等による不当介入を受けたことにより工程に遅れが生じる等の被害が生じた場合は、発注者と協議を行うこと。
(6)工事実績情報の作成、登録
1)工事請負額が500万円以上の工事については、工事実績情報(工事カルテ)の登録をすること。
2)登録する場合は、あらかじめ監督職員の確認を受け、次に示す期間内に(一財)日本建設情報総合センター(JACIC)に登録の手続きを行うとともに、登録されたことを証明する資料を監督職員に提出する。なお、変更時と完成時の間が10日間に満たない場合は、変更時の提出を省略できるものとする。
①工事受注時契約締結後10日以内
②登録内容の変更時変更契約締結後10日以内
③工事完成時工事完成後10日以内
(7)環境に関する配慮について(ISO)
工事にあたっては、長野市環境方針(最新版)を十分に配慮し、設計書及び標準仕様書はもとより、環境に配慮した材料の仕様、廃棄物の発生抑制、アイドリングストップや省エネ重機の使用による省エネルギーの推進、低公害工事機材の使用、工事従業者への教育など、施工にあたって細心の注意を払うことにより、工事の環境への影響を極力少なくするよう配慮すること。
なお、具体的な計画を施工計画書に記載して実践するものとする。
(8)章、項目、特記事項共に●印の付いたものを適用し、○印のものは適用しない。
(9)長野市公契約等基本条例について
●長野市公契約等基本条例の内容について、労働者等へ周知するとともに、事務所(作業所)等へポスターを掲示すること。
●業務の一部を下請負者等に履行させるときは、長野市公契約等基本条例の内容について説明し、各々の対等な立場における合意に基づいて適正に契約を締結すること。
○長野市公契約等労働環境報告書1部及び施工体系図(共通仕様書に定められたもの)の写し1部を契約後速やかに監督職員へ提出すること。この場合、業務の一部を下請負者等に履行させるときは、下請負者等の労働環境報告書を取りまとめて提出すること。
(10)週休2日工事について
実施にあたっては、長野市週休2日工事実施要領により行うこと。
1)月単位の週休2日工事の場合
当初予定価格において、4週8休以上の達成を前提とした経費補正を行っている。そのため、現場の開所実績を確認し、月単位での4週8休未満の場合は、実施要領に定めるところにより減額変更を行う。
2)通期の週休2日工事の場合
当初予定価格において、4週8休以上の達成を前提とした経費補正を行っている。そのため、4週8休未満の場合は、実施要領に定めるところにより減額変更を行う。

●一般共通事項

○電気保安技術者
工事現場におく電気保安技術者は、工事担当技術者の職務を補佐し、電気工作物の保安の業務を行うものとする。
○技能士の適用
○配管施工(配管工事)○建築板金施工(ダクト製作および取付け)
○熱絶縁施工(保温工事)○冷凍空調調和機器施工(冷凍空調機器の据付)
○監督員事務所
○設けない○設ける
○工事用電力・水・その他
この工事に必要な工事用電力、水及び諸手続などの費用は、すべて受注者の負担とする。
○足場・さん橋類
○別契約の関係請負者が設置したものは無償で利用できる。
●本工事で設置とする。
○建設発生土の処理
○現場説明書による○構外搬出適切処理
○構内指示の場所にたい積○構内指示の場所に敷き均し
参考搬出先(住所:長野市)想定残土運搬距離(km)想定土質区分(第種発生土)
なお、参考処分場以外に搬出する場合(自社処分地、無償処分地、参考処分地での受入れが不可により他の有料処分地)や土質区分が想定と異なる場合は変更協議の対象とする。
○埋め戻し土・盛土
○根切り土の中の良質土(ただし管の周囲は山砂、川砂又は再生砂)
○山砂の類
●資材の保管
●資材の保管は、必ず屋根をかけ地上30cm以上の架台に乗せる。
●火災保険等
●工事目的物及び工事材料に適用する。(工期+14日間)
○他工事又は他工程との取合い
設備機器の位置、取合い等の検討のできる施工図を提出して、監督職員の承諾を受ける。
●施工調査
(1)はつり工事は、事前に走査式埋設物調査を行い、監督職員に報告を行うこと。
(2)既設壁等の貫通は、鉄筋探査を行い、躯体を痛めないよう配慮すること。
●あと施工アンカー
あと施工アンカーを施工する作業者は、一般社団法人日本建築あと施工アンカー協会の資格を有する者又は十分な技能及び経験を有した者で、監督職員が認めた者とする。施工後の確認試験は監督職員の指示による。
●防火上主要な間仕切り壁等の貫通処置
防火上主要な間仕切り壁等を貫通する場合は、国土交通省認定工法にて防火区画貫通処理を行うこと。
●化学物質を放散させる機材等
本工事の建物内部に使用する機材等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の(1)から(5)を満たすものとする。
(1)合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ウレア樹脂板、仕上げ塗材及び壁紙は、ホルムアルデヒドを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。
(2)保温材、緩衝材、断熱材は、ホルムアルデヒド及びスチレンを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。
(3)接着剤はフタル酸ジエーｎ-ブチル及びフタル酸ジエー2-エチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。
(4)塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。
(5)上記(1)、「(3)及び(4)の機材を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒドを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。
なお、ホルムアルデヒドを放散させないものとは放散量が規制対象外のもの、ホルムアルデヒドの放散が極めて少ないものとは放散量が第三種のものをい、原則として規制対象外のものを使用する。ただし、該当する材料等がない場合は、第三種のものを使用するものとする。
また、「ホルムアルデヒドの放散量」は、次のとおりとする。

ホルムアルデヒド	該当する機材等
規制対象外	①JIS及びJASのF☆☆☆☆品 ②建築基準法施行令第20条の7第4項による国土交通大臣認定品 ③下記表示のあるJAS適合品 a.非ホルムアルデヒド系接着剤使用 b.接着剤等不使用 c.非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない材料使用 d.ホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用 e.非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料使用 f.非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用
第三種	①JIS及びJASのF☆☆☆☆品 ②建築基準法施行令第20条の7第3項による国土交通大臣認定品 ③IBJISのEo品 ④IBJASのFco品
●施工図及びしゅん工図等の取扱い	施工図及びしゅん工図等の著作権に係わる当該建物に限る使用権は、発注者に移譲するものとする。

●アスベスト含有建材の事前調査
アスベスト含有建材の撤去に当たり、石綿障害予防規則第3条の規定に基づきあらかじめ事前調査を建築物石綿含有建材調査者が行うこと。調査は、「建築物の解体等に係る石綿飛散防止対策マニュアル」及び「建築物等の解体等の作業及び労働者が石綿等に基づく露するおそれがある建築物等における業務での労働者の石綿ばく露防止に関する技術上の指針に基づく石綿飛散漏洩防止対策徹底マニュアル」を参考に行うこと(書面調査及び現地調査)。また、石綿に関する事前調査結果を石綿事前調査結果報告システムにより報告すること。
○アスベスト含有建材の改修
●週休2日工事の対象
●耐震措置
設備機器の固定等は、すべて「国土交通省国土技術政策総合研究所・独立行政法人建築研究所監修の建築設備耐震設計・施工指針2014年版」により行う。ただし、設計用水平震度KH及び設計用鉛直震度KV(KH/2)を用いて計算する。設計用水平地震力と設計用鉛直地震力は同時に作用するものとする。

設計用標準水平震度

設置場所	機器種別	特定の施設		一般の施設	
		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階 屋上及び塔屋	機器	2.0	1.5	1.5	1.0
	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5
	水槽類(※1)	2.0	1.5	1.5	1.0
中間階	機器	1.5	1.0	1.0	0.6
	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0
	水槽類(※1)	1.5	1.0	1.0	0.6
地下・1階	機器	1.0	0.6	0.6	0.4
	防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6
	水槽類(※1)	1.5	1.0	1.0	0.6

【備考】(※1):水槽類には、オイルタンク等を含む。
特定の施設とは避難所に指定されている施設
重要機器は次のものを示す。
・給水装置・排水装置・換気機器・空調機器・熱源機器
・防災設備・監視制御設備・危険物貯蔵装置
・火を使用する設備・避難経路上に設置する機器
上層階の定義は次による。
2～6階建の場合は最上階、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建の場合は上層3階、13階以上の場合は上層4層とする。

●提出書類

(1)着工前
施工計画書2部
(2)施工中
施工図、機器納入仕様書(見本品を含む)2部
(3)しゅん工時
しゅん工居1部
しゅん工写真1部
工事写真1部
工事記録簿1部
工事記録簿1部
施工計画書1部
社内検査報告書1部
各種届出書1部
機器納入仕様書1部
承諾を受けたもの1部
施工図1部
しゅん工図1部
しゅん工図製本1部
●保全マニュアル
機器設定データ類とも(交換機等)2部
取扱説明書2部
工具・予備品監督職員の指示による

●総合調整
○風量調整○水量調整○空調室内機吹出及び外気の温度測定○騒音測定
○別途とする。
○飲料水の水質測定(○水質検査11項目(一般細菌、大腸菌、硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素、亜硝酸態窒素、塩化物イオン、有機物等(TOC)、pH、味、臭気、色度、濁度)○トルエン)
※飲料水の水質測定は厚生労働大臣登録水質検査機関とする。
○給水配管末端での残留塩素測定
●昇降機試運転調整
(1)機器類の能力、容量等は表示された数値以上とする。
(2)電動機出力、燃料消費量、圧力損失は、原則として表示された数値以下とする。

●容量等の表示

○配管
溶接部の非破壊検査○要()

○絶縁継手

○地中埋設機等
(1)地中埋設機○要(図示の箇所)○不要
(2)埋設表示用テープ○要(排水管を除く)○不要

○フレキシブルジョイント
○圧送管に使用するフレキシブルジョイントは、可とう性に加え、防振性を合わせ持つものを選定すること。

0市債ノルテナがのエレベーター改修

工事設計図

発注図R8.01.20

設計者中村安志
一級建築士登録第284030号

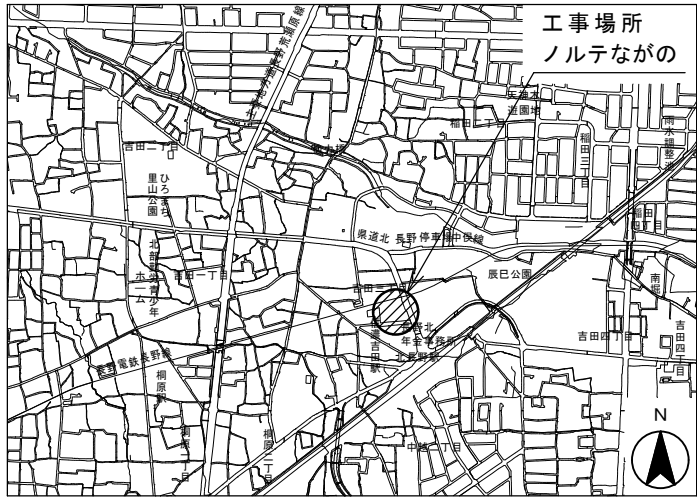
特記仕様書(1)

令和7年度

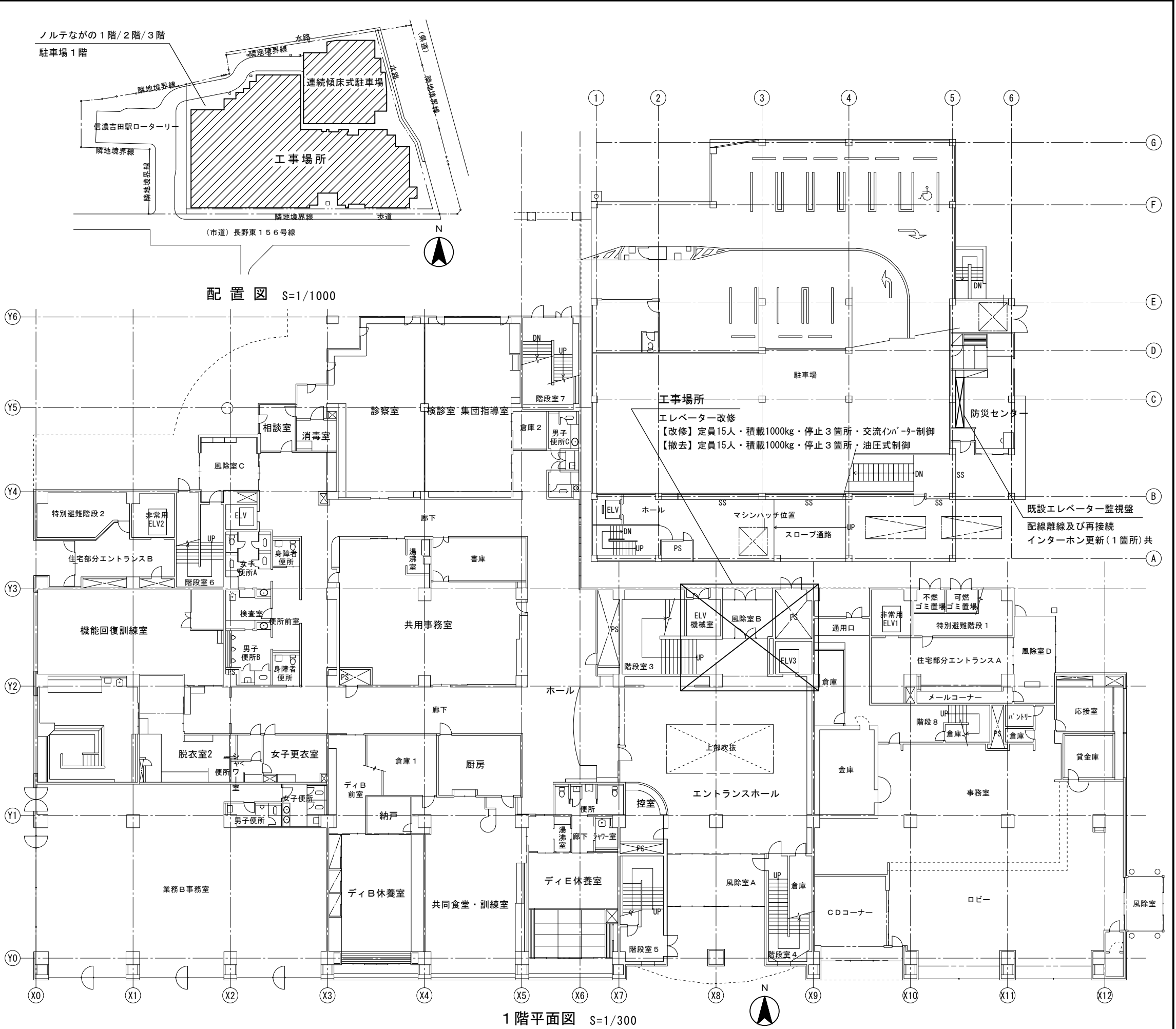
●長野市建設部建築課

図面番号M-01

● 撤去工事	● 撤去内容	● 撤去内容は図示による。
	● 発生材の処理	○ 特別管理産業廃棄物は（○ ○ ○ ）とする。 ○ 再資源化を図るものは（○ ○ ○ ）とする。 ● 構外撤出適法処理をし、マニフェストA票、E票の写しを提出する。 なお、少量（2t車1台程度）の場合は、自社保管場所にて保管後適正処分も可とする。 ○ フロン回収
● 昇降機設備	● 定員・積載	15 人 1000 kg
	● 速度・停止箇所	60 m/min 3 箇所（1階～3階）
	● その他	● 乗場遮煙性能 ○ 利用者制限機能 ● 耐震安全性分類（○ S14 ● A14） ● 管制運転（● 地震時 ● 火災時 ○ 非常用発電時 ● ピット冠水時） ● インターホン ● かご内手すり（● 左右 ● 背面） ● かご内鏡
● その他	● 情報共有システム	本工事は、情報共有システムを利用できる工事である。利用にあたっては、長野市情報共有システム実施要領により行う。 利用するシステムは「長野市情報共有システム機能仕様書」を満たすものから受注者が選択し、事前に監督員の承諾を受けるものとする。 情報共有システム利用に要する費用（登録料及び利用料）は、共通仮設費の積み上げによる算定とし、設計変更により対応する。
	● 電子納品に関する事項（試行）	● 適用する ○ 適用しない（国庫補助事業による工事） 竣工書類の電子納品について、受注者が電子媒体の提出を希望し、発注者（長野市の工事担当課）がこれを認めた場合に適用する。 電子納品は「工事書類の電子納品に関する運用の手引き」に基づくものとする（図面関係、写真関係のみ）。なお、電子納品における書類の作成費用等は工事費の経費（共通仮設費の率分）に含まれ、検査に要する費用においても受注者の負担とする。
	● 申請及び届出	本工事に係る申請及び届出の要不要を取りまとめ、工事着手前に監督職員に報告書の提出を行うこと。また、申請先で不要と判断されたものについては、回答の日付及び申請先の担当者を明記すること。 （1）空気調和・換気・給湯設備 ○ 『長野市公害防止条例』に伴う騒音に係る特定施設の届出 ・空気圧縮機及び送風機（原動機の定格出力3.75kW以上7.5kW未満） ・冷凍冷蔵用ガス圧縮機（原動機の定格出力7.5kW以上） ・空調用ガス圧縮機（原動機の定格出力7.5kW以上） ○ 『長野市火災予防条例』に関する届出 （2）給水・排水設備 ○ 長野市上下水道局『給水装置・排水設備工事指針』に従う各種申請 ・給水装置工事確認票及び排水設備工事確認票の掲示 ○ 長野県企業局『給水装置設計施工基準』に従う各種申請 ○ 作業の騒音・振動に関する特定建設作業の届け出（バックホウ等の使用） （3）消火設備 ○ 消防法上規定されている申請・届出・検査 （4）撤去工事 ○ アスベスト除去作業の届出 （5）昇降機設備 ● 昇降機設備 計画通知書（昇降機）・確認申請書（昇降機）



案内図 S=NON



1階平面図 S=1/300

設計者 中村 安志 一級建築士登録 第284030号	〇市債 ノルテナがのエレベーター改修		工事設計図	発注図 R8.01.20 図面番号 M-02
	特記仕様書（2） 案内図 1階平面図		令和7年度	
	● 長野市建設部建築課			

エレベーター仕様		
基本仕様	号 機 名	NO. 3 (ELV3)
	型 式 (参考品番)	日立機械室レスアープエンスHF P-15-C060
	用 途	乗用兼車いす用
	定格積載質量/定員	1000kg/15人乗
	定 格 速 度	60m/min
	運 転 方 式	乗合全自動方式 (乗り捨て方式)
	制 御 方 式	インバータ制御方式 (マイコン制御、愛情アナウンス付)
	停 止 階	3箇所 (1～3 階)
	か こ 寸 法	開口1600mm 奥行1500mm 天井高さ2250mm
	出入口寸法	幅900mm 高さ2100mm
	戸 型 式	2枚戸中央開き
	電 動 機	AC 6. 2kW
	動力用電源	AC 3 φ 200V 60Hz
照明用電源	AC 1 φ 100V 60Hz	
連絡装置	同時通話式インターホン (型式: EZ-O5)	
設置場所	設置場所: 1階、防災センター	
監 視 装 置	リモートメンテナンスインターフェース付	
管制運転	地 震	有り (P波およびS波感知) (リスタート機能付)
	火 災	有り (火報連動接点による自動式および切替スイッチによる手動式)
	停 電	有り
	自家発電	無し
建物用途別標準装備仕様	10分間待ち時間短縮	有り
		ケافلセンサー付
		戸開走行保護装置
乗場仕様	三 方 枠	1～3階 大枠 鋼板塗装仕上 (既設再使用、再塗装)
	縦 枠	1～3階 小枠 鋼板塗装仕上
	乗 場 戸	1～3階 鋼板塗装仕上
	幕 板	1～3階 無し
	敷 居	1～3階 硬質アルミ
	ホールランタン	1～3階 無し
	インジケーター	1～3階 縦型デジタル表示 (既設ケース再使用) カバー: ステンレスヘアライン仕上
	ホールボタン	1～3階 抗菌凸文字ボタン (φ45) (S I A A 認証) インジケーターに絡込
	車いす用 ホールボタン	1～3階 抗菌凸文字ボタン (φ45) (S I A A 認証) カバー: ステンレスヘアライン仕上 (既設ケース再使用)
	かこ仕様	天 井
前 側 板		化粧鋼板
側 板		化粧鋼板
戸		化粧鋼板
出入口上部		化粧鋼板
床		荷重用樹脂タイル (2T)
幅 木		化粧鋼板
敷 居		硬質アルミ
操 作 盤		ボタン 抗菌凸文字ボタン (φ33) (S I A A 認証) カバ 樹脂成型品
インジケーター		カラー液晶表示 (背景色: 白) 操作盤に絡込
車いす用 操作盤		ボタン 抗菌凸文字ボタン (φ33) (S I A A 認証) カバ 樹脂成型品
気くばり 操作盤		ボタン 無し カバ 無し
鏡		ステンレス製
ハンドレール		角形ハンドレール: アルミアルマイト仕上
監 視 盤		有り (自立型) (既設再使用)
耐震クラス		A1.4
既設再使用		
		車いす用ホールボタンケース
		中間ビーム
		監視盤

	昇降機技術基準の解説 2016年版対応
	ビット深さ特殊
	音声案内装置付（緊急時4か国語）
	防振対策付
	ドアシグナル付マルチビームドアセンサー付
	遮煙性能付乗場戸（大臣認定番号：CAS-0216）（火災、停電用）（1～3階）
	ホールボタンフェースプレート増し
	車いす注意銘板付（横型）（1～3階）
	点字注意銘板付（横型）
	車いす仕様付
	視覚障がい者仕様付（全ての操作盤と乗場ボタンに点字銘板付）
	フレッシュプレート付
	メンテナンスサービス提供用カメラ付（別途対応）
	かが内監視カメラ用昇降路内同軸ケーブル付
特 記 仕 様	車いす呼び戸開き時間延長
	一般呼び戸開き時間延長
	発音式ボタン（かが）
	かが上下に着床予報電子チャイム付
	かがドア両側セーフティシュー付
	絶縁トランス付
	警報ブザーをかが上に取付
	非常ボタン連動 無電圧接点支給
	公共建築工事標準仕様書（R7）適用
	4mレール使用
	ステンレス材一式：SUS304
	かがと乗場の敷居間さま10mm
	-V-

附 帯 工 事 内 容				
No	附 帯 工 事 項 目	建築	電気	本工事
1	1. ストックヤード他 各所養生作業			○
2	2. 撤去品細分化			
3	(1) ブランジャー、メインレール、ブランジャーレール			○
4	(2) プラットフォーム、かご			○
5	(3) 機械室品、油送配管			○
6	3. 撤去品搬出作業			
7	(1) 搬出経路養生			○
8	(2) 足場材搬入			○
9	(3) 揚重機材設置、解体作業			○
10	(4) 乗場戸、散居、ドアポケット			○
11	(5) 塔内電線、器具、ビット品			○
12	(6) かご内室、天井、ドアマシ			○
13	(7) 主ロープ、ガバナロープ、プラット			○
14	(8) ブランジャー、ジャッキ含む			○
15	(9) 主レール、ブランジャーレール			○
16	(10) 機械室品			○
17	4. 新設品搬入			
18	(1) 搬入経路養生			○
19	(2) 足場材搬出			○
20	(3) レール、マシン、制御盤、電線、器具関係			○
21	(4) 乗場戸、散居、ドアポケット			○
22	(5) ロープ、プラット、カウンターウェイト			○
23	(6) かご内室、天井			○
24	5. 各種立会い			
25	(1) 建築関連（はつり、カメラ取外し取付け）			○
26	(2) 官庁検査			○
27	6. 清掃作業（着工・引渡し前）			○
28	7. その他附帯工事			
29	(1) 既存レールブラ・中間ビーム撤去、塔内補修作業			○
30	(2) 機械室既存油送管部穴塞ぎ作業			○
31	(3) 機械室床補修（軽微な補修）			○
32	(4) 共通回路切り離し及び鉛盛り替え工事			○
33	(5) 監視盤切離し、接続及び確認			○
34	(6) エスレンブロック現地加工			○
35	(7) 各所小はつり作業			○
36	(8) 火報信号の切り離し・接続及び 確認			○
37	(9) 火気作業に伴う監視			○
38	(10) かご内カメラ取外し			○
39	(11) フェッシャープレート加工取付			○
40	(12) 埋設物調査（簡易探査）			○
41	(13) 工事写真（施工前・中・後）			○
42	(14) 中間ビーム設置工事（清形鋼125×65×6:8本）			○
43	(15) 完成図書作成			○

関 連 工 事 内 容			
No	関 連 工 事 項 目	建築	電気 本工事
1	〔関連工事〕		
2	動力電源用配管配線延長工事（アース線含む）		○
3	照明電源用配管配線延長工事		○
4	インターホン用配管配線延長工事		○
5	既設機械室に分電盤（主、照明、アース）取付工事		○
6	ビット内コンセント移設工事		○
7	監視盤・遠隔監視用配線延長工事		○
8	電源線及び各種信号線延長工事		○
9	工事用仮設分電盤設置工事		○
10	各階エレベーターホール安全対策（仮囲い方式）		○
11	既設油圧作動油抜き取り作業		○
12	〔油圧機械室及びビット関連工事〕		
13	機械室床既設ユニットベースはつり出し工事		○
14	機械室床既設ブルボックスはつり出し工事		○
15	機械室床既設配管・配線（ｼﾞｬﾝﾌﾟ・ｺﾝｸﾘｰﾄ）はつり出し工事		○
16	機械室防水堤はつり出し工事		○
17	機械室床補修＆防塵塗装仕上げ工事		○
18	機械室吸音材撤去工事		除外
19	ガラ袋詰め片付け		○
20	ビット内機器はつり出し工事（ガラ袋詰め片付け含む）		○
21	ビット防塵塗装仕上げ及び撤去後の穴等の埋め戻し補修工事		○
22	三方枠再塗装（大枠）		○
23	三方枠下地処理		○
24	各階乗場敷居はつり出し工事		○
25	各階乗場敷居設置後の床埋戻し及び仕上工事		○
26	各階廊廻り応用縦枠及び敷居設置工事（格間コーキング含む）		○
27	産業廃棄物処理		○
28	ビット反力の建築構造強度計算		○
29	ビット床の補強工事（検討結果強度が不足した場合）		除外
30	誘導員		○
31	足場リース・運搬		○
32	既設油送管両端塞ぎ工事（天井裏油送管は残置とする）		○
33	埋設管探査		○
34	特殊搬出入（都度養生、重量嵩人工、橋重機材設置含む）		○
35	安全対策		○
36	各階点字ブロック隠蔽及び点字シート設置		○
37	かご床仕上工事		○
38	対象建材のアスベスト含有調査		○
39	（既設機械室床モルタル、機械室～昇路路間耐火バテ、ケイ酸カルシウム板		
40	昇路路壁コンクリート、乗場三方枠及び敷居廻り補修モルタル、乗場壁材		
41	床仕上げ材、ビット床防水モルタル）		
42			
43			

電気設備		
号機名	NO. 3 (ELV3)	
動力用電源※1 (既設線サイズ38mm ²)	AC 3φ 200V 60Hz 8mm ² ×1回路 (EM-CET) / 台	
	線サイズ (mm ²)	8 / 14 / 22
	最大引込距離 (m)	52 / 89 / 135
	MCB容量	50A/台以上
	トランス容量	6kVA/台 以上
	起動kVA	20kVA/台
照明用電源※1	AC 1φ 100V 60Hz 2.0mm ² ×1回路/台	
アース線※1	3.5mm ² (D種) / 台	
インターホン用配管配線※2	EM-FCPEE 0.9-7P (延長)	
リモートメンテナンス用配管配線※2	EM-GPEE 0.9-1P, 配管サイズφ25 (延長)	
ビット点検用コンセント	AC 100V 10A ×1個/台 (既設品活用)	
火災警知信号無電圧・接地支給及び配管配線※2	印加電圧 DC24V 接点容量 1A/台 (延長)	
非常放送用スピーカー用配管配線※2	EM-HIP 1.2-3C/台 (延長)	
カメラ用配管配線 (昇降路外)	同軸ケーブル 5C - 2V × 1本 (延長)	
監視盤用配管配線※2	既設再使用 (機械室→昇降路まで延長)	
注意事項	上記の配管配線はエレベーター制御室から各設備ならびに機器の設置場所まで引込み	


勞基法適用（本設用）： 有（設置屆・設置報告）・ ☒ 無

耐震クラス：A14

ガイドレール 部分荷重 (N)	かご側		ウエート側	
	P X	P Y	P X	P Y
NO. 3 (ELV3)	5050	3050	7900	3950

地震時建物に掛る荷重

標準型エレベーターの荷役制限について	
・軽台車などで荷物を運搬する場合には、250kg以下/回。	

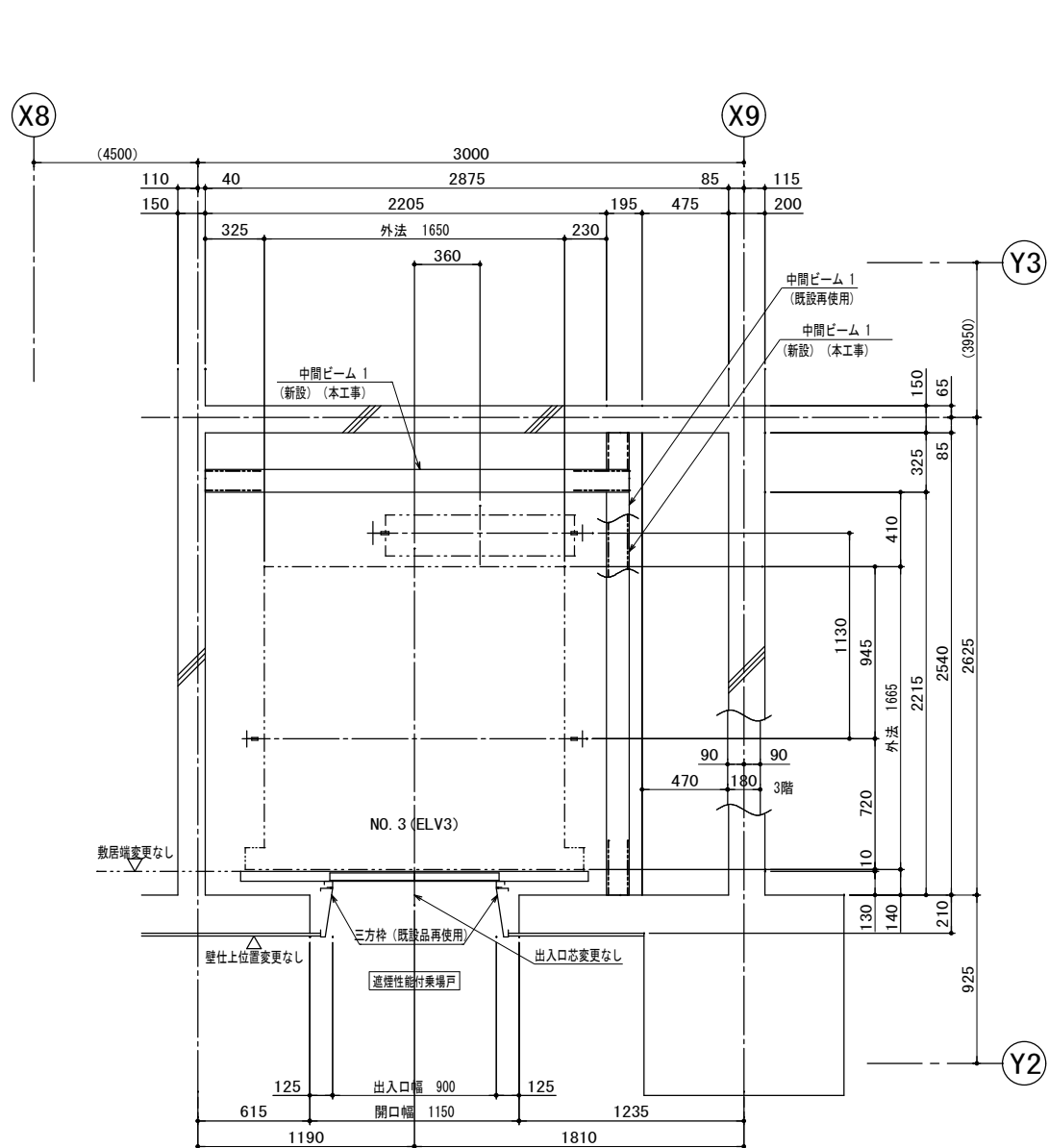
設 計 者 中 村 安 志 一級建築士登録 第284030号	0市債 ノルテナがのエレベーター改修		工事設計図	発注図 R8.01.2
	改修 エレベーター仕様		令和7年度	
	 長 野 市 建 設 部 建 築 課			図面番号 M-03

The floor plan illustrates the layout of a mechanical room, including a large rectangular area on the left and a more complex arrangement on the right. Key features and dimensions include:

- Room Dimensions:** The overall width is 7500mm, and the depth is 3740mm. A section cut is indicated at (4500).
- Left Section (Mechanical Room):**
 - Dimensions: 2525mm wide, 2910mm high.
 - Features: 1000口 (opening), 吸気ダクト (FD付) (residual), 吸音材 (residual), 点検用コンセント (残置) AC1φ100V10A, 分電盤取付 (主、照明、アース) (本工事), 電源引込み位置 (本工事) (動力・照明用電源、アース線、遠隔監視用電話線, 配管突き出し50mm, 引き出し長さ6000mm), 穴埋め戻し (本工事), 油送管 (残置), 天井点検口 500口.
- Right Section:**
 - Dimensions: 3000mm wide, 7500mm high.
 - Features: 中間ビーム 1 (既設再使用), 中間ビーム 1 (新設) (本工事), 巻上機, 点検面, 内法 1600, 内法 1500, NO. 3 (ELV3), 三方枠 (既設再使用), 遮断性能付乗降戸, 壁仕上位置変更なし, 敷居端変更なし, 出入口芯変更なし.
- Annotations:**
 - 出入口: 自閉式防音戸 (既設再使用) (鋼板製、施錠付) 1200W 2000H
 - 点検用コンセント (残置) AC1φ100V10A
 - 吸気ダクト (FD付) (残置)
 - 吸音材 (残置)
 - 点検用コンセント (残置) AC1φ100V10A
 - 分電盤取付 (主、照明、アース) (本工事)
 - 電源引込み位置 (本工事) (動力・照明用電源、アース線、遠隔監視用電話線, 配管突き出し50mm, 引き出し長さ6000mm)
 - 穴埋め戻し (本工事)
 - 油送管 (残置)
 - 天井点検口 500口
 - 穴埋め戻し (本工事)
 - 中間ビーム 1 (既設再使用)
 - 中間ビーム 1 (新設) (本工事)
 - 巻上機
 - 点検面
 - 内法 1600
 - 内法 1500
 - NO. 3 (ELV3)
 - 三方枠 (既設再使用)
 - 遮断性能付乗降戸
 - 壁仕上位置変更なし
 - 敷居端変更なし
 - 出入口芯変更なし

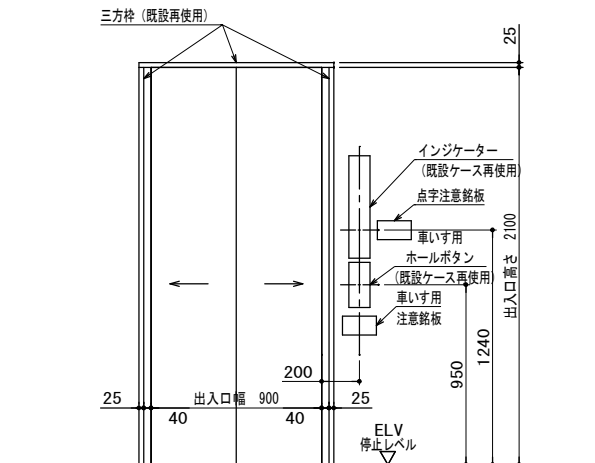


升降路

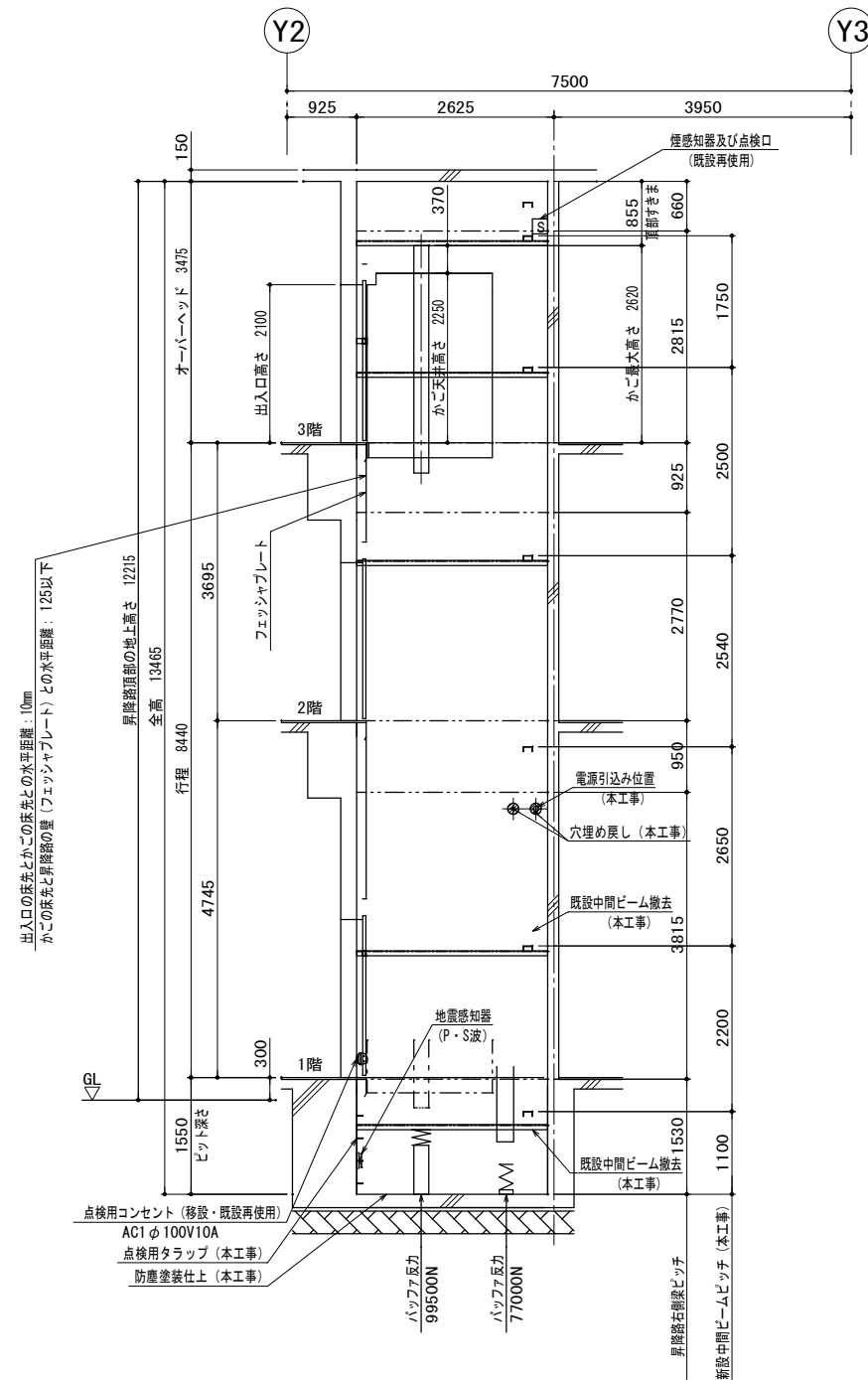
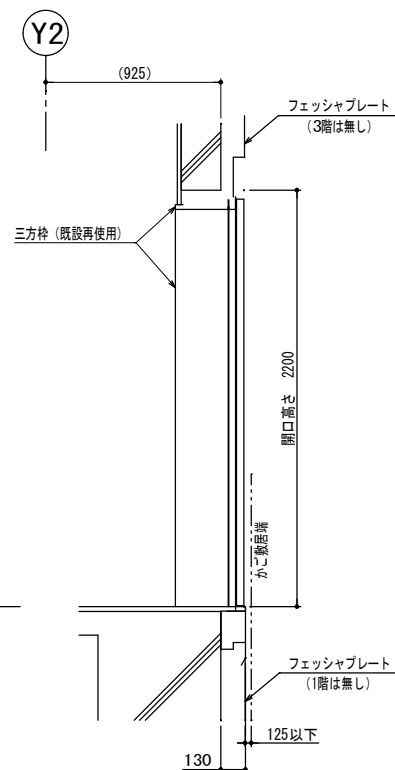


中間ビームリスト	
番号	部 材
1	[-125X65X6

改修 2階/3階 昇降路平面図 S=1/40



改修 出入口正面/断面図 S=1/40



改修 昇降路断面図 S=1/100

設計者 中村 安志
一級建築士登録 第284030号

〇市債 ノルテナがのエレベーター改修

工事設計図

発注図
R8. 01. 20

改修 2階/3階 昇降路平面図 昇降路断面図 外

令和7年度

図面番号
M-05

長野市建設部建築課

※改修工事に伴う既存配線離線及び再接続（本工事）

項 目		(主) 監視盤	(副) 監視盤	備 考
設置場所		<input checked="" type="checkbox"/> 階・中央監視室・ 防災センター ・その他()	<input type="checkbox"/> 階・中央監視室・防災センター・その他()	
製作区分		(自社)・他社()	自社・他社()	
張り替え区分		(流用(改造盤))・流用(改造有)	流用(改造無)・流用(改造有)	
電気設備関係	監視盤用建屋支給電源	無・有 <input checked="" type="checkbox"/> AC-100V DC-100V	無・有 <input checked="" type="checkbox"/> AC-100V DC 100V	
	監視盤用 建屋支給信号	M接点(注1)	無・有(流用)・有(追加) (1ヶ/全台) () (接点容量 48V 0.5A)	無・有(流用)・有(追加) (1ヶ/全台・Gr) (接点容量 <input type="checkbox"/> V <input type="checkbox"/> A)
		N接点(注2)	無・有(流用)・有(追加) (1ヶ/全台) () (接点容量 48V 0.5A)	無・有(流用)・有(追加) (1ヶ/全台・Gr) (接点容量 <input type="checkbox"/> V <input type="checkbox"/> A)
		火報接点(注3)	無・有(流用)・有(追加) (1ヶ/全台・建屋別) (接点容量 48V 0.5A)	無・有(流用)・有(追加) (1ヶ/全台・建屋別) (接点容量 <input type="checkbox"/> V <input type="checkbox"/> A)
		緊急地震速報接点(注4)	無・有(流用)・有(追加) (1ヶ/全台・建屋別) (接点容量 <input type="checkbox"/> V <input type="checkbox"/> A)	無・有(流用)・有(追加) (1ヶ/全台・建屋別) (接点容量 <input type="checkbox"/> V <input type="checkbox"/> A)
		その他()	無・有(流用)・有(追加) (1ヶ/全台・建屋別) (接点容量 <input type="checkbox"/> V <input type="checkbox"/> A)	無・有(流用)・有(追加) (1ヶ/全台・建屋別) (接点容量 <input type="checkbox"/> V <input type="checkbox"/> A)
差 異	既設置装置	無・有()	無・有	
改造の要否	改造内容	無・有(SW追加・SW変更・表示灯追加・表示灯変更)	無・有(SW追加・SW変更・表示灯追加・表示灯変更)	2、3項の注5参照
	追加線	無・有(スベア)・有(新規)	無・有(スベア)・有(新規)	
	改造時期	年 月 予定	年 月 予定	

△：直引き配線

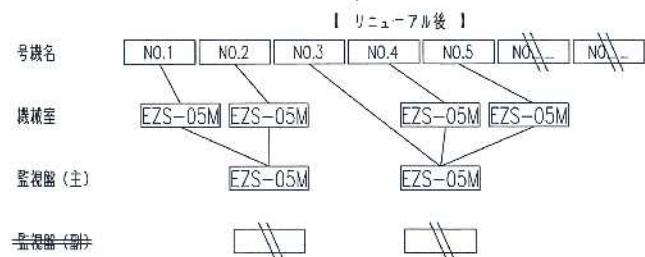
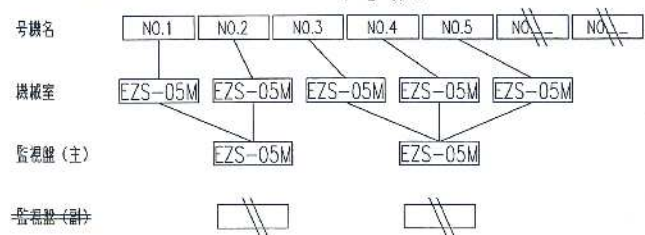
[illegible]

△：面引き配線

[illegible]

項目	調査項目		昇降機	(主)監視盤	(副)監視盤	備考
	セ#(号機名)(注8)	停止数(停止階名)	リニューアル	監視IWC0印	監視IWC0印	
エレベーター	セ# NC8060-01 (NO.1)	11 (1,4~13階)	有・無	○		
	セ# NS1991-01 (NO.2)	12 (1,2,4~13階)	有・無	○		
	セ# P35420-01 (NO.3)	3 (1~3階)	有・無	○		
	セ# TA6340-01 (NO.4)	2 (1,3階)	有・無	○		
	セ# TE6137-01 (NO.5)	9 (1~9階)	有・無	○		
	セ# (NO.) ()	()	有・無			
	セ# (NO.) ()	()	有・無			
	セ# (NO.) ()	()	有・無			
	セ# (NO.) ()	()	有・無			
	セ# (NO.) ()	()	有・無			
エスカレーター	セ# (NO.) ()	()	有・無			
	セ# (NO.) ()	()	有・無			

【現狀】



既設監視器作番：W94177

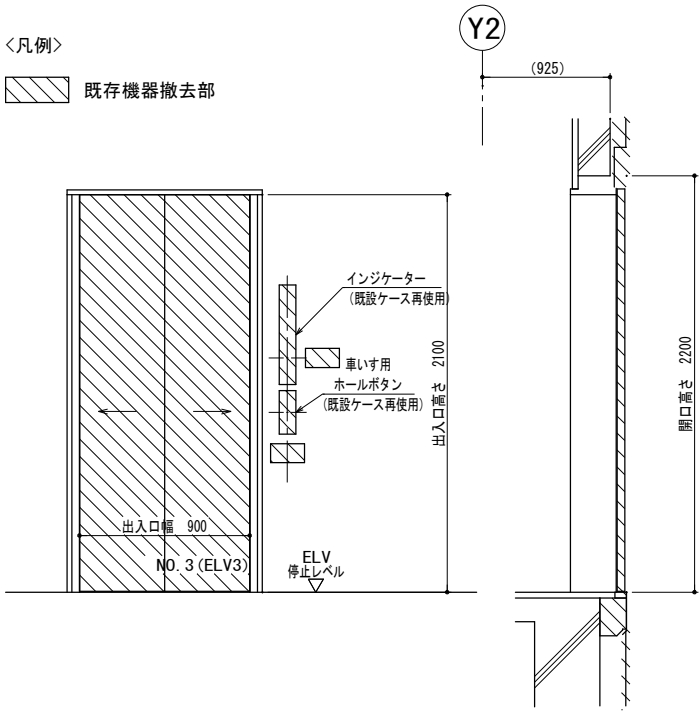
- (注1) 自家発電電源電圧低下時ONする無電圧連絡接点
(例：発電機電圧降下警報(84G)のa接点)
(本信号は自家発電テスト時閉路しないものとする)
M、N接点と同時にON条件があると自家発電制御運転に不具合が生じる
- (注2) 商用電源が通電されているときONする無電圧連絡接点
(例：受電交流しゃ断警報(52R)のa接点又は、
不足電圧継電器(27R)のb接点)
- (注3) 火災時ONする無電圧連絡接点(a接点)
- (注4) 気象庁発表の「緊急地震速報」によりONする無電圧ワンショット接点(a接点)
- (注5) 内は監視盤改造時記載
- (注6) 「起動ー運転ー停止」SWは常置継続SWに変更要
- (注7) SWの銘板は現地に合わせて訂正のこと
- (注8) 他社製エレがある場合は、セキ記載欄に他社製と明記のこと

長野市建設部建築課

図面番号
M-07

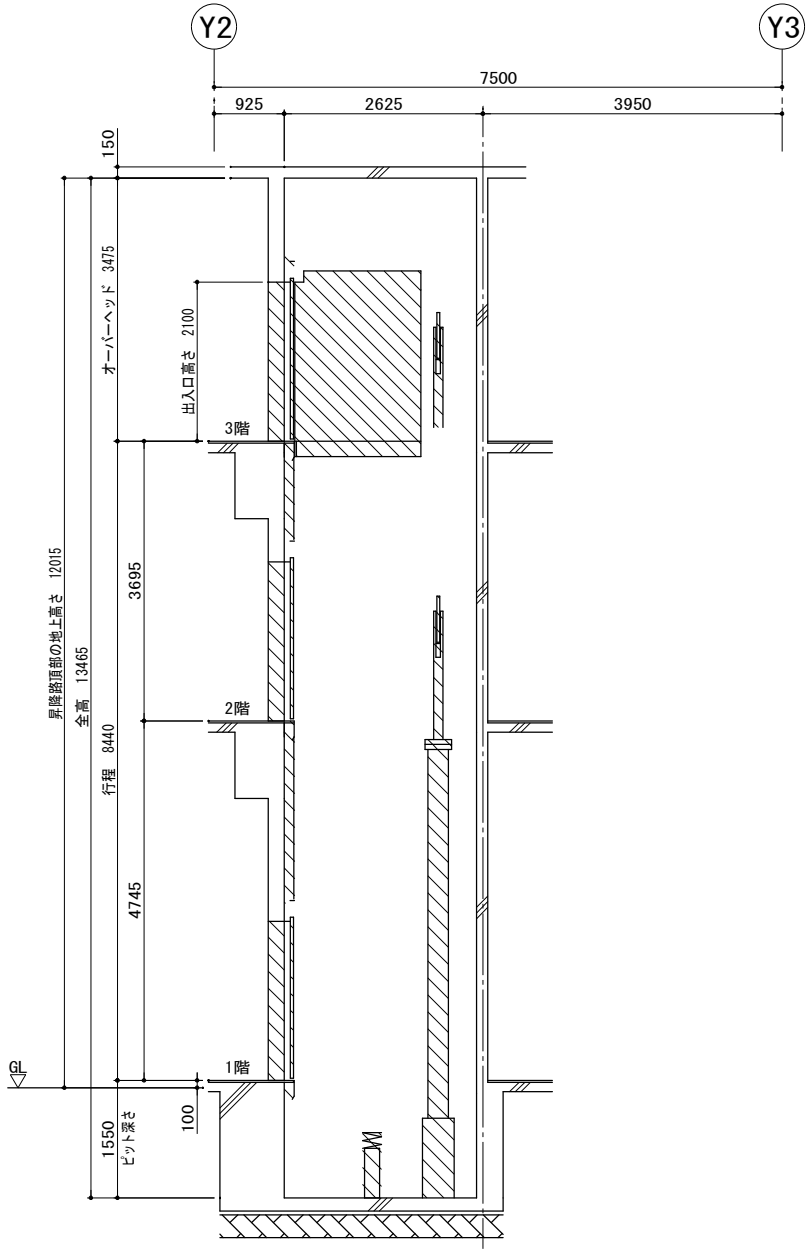
既設エレベーター仕様(撤去)	
号機名	NO. 3 (ELV3)
型式	HF-P-1000
用途	乗用兼車いす用
定格積載質量/定員	1000kg/15人乗
定格速度	60m/min
運転方式	乗合全自動方式(乗り捨て方式)
停止階	3 箇所 (1~3 階)
かご寸法	間口1600mm 奥行1500mm
出入口寸法	幅900mm 高さ2100mm
戸型式	2枚戸中央開き
電動機	AC 37kW
連絡装置	インターホン

基本仕様



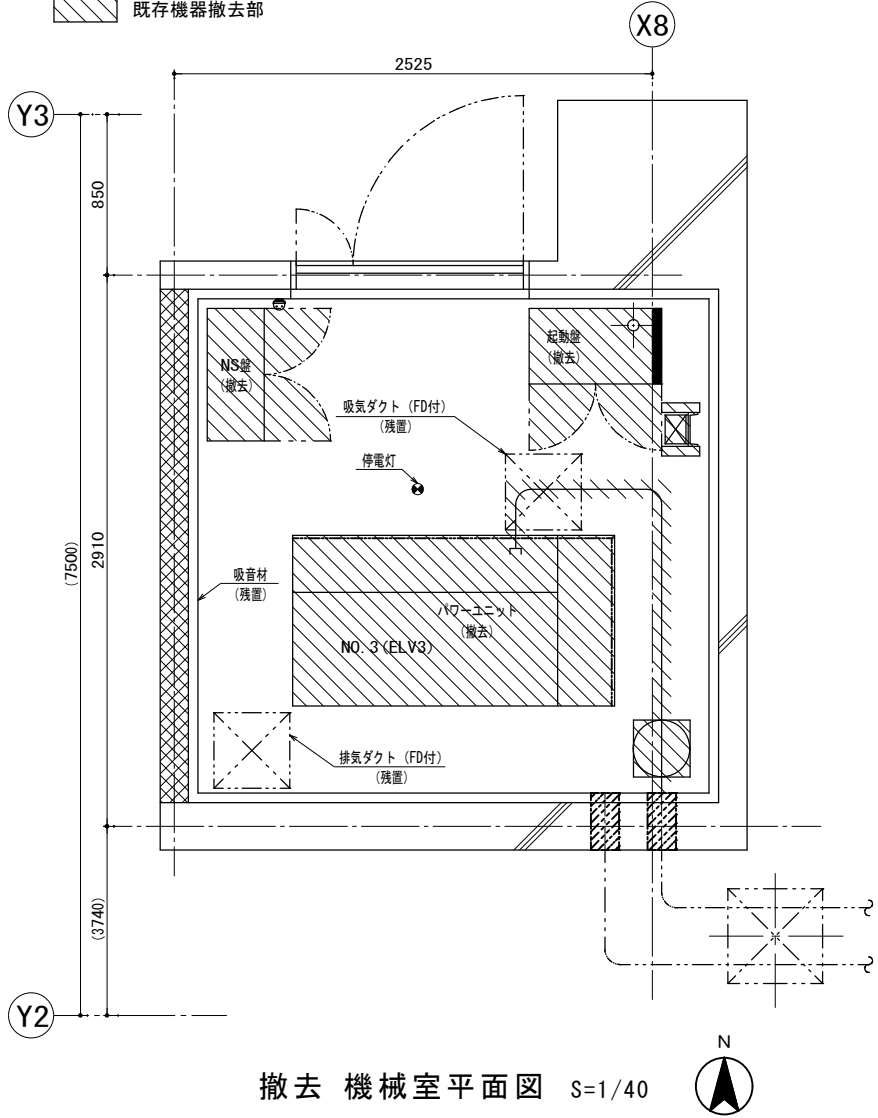
<凡例>

既存機器撤去部



<凡例>

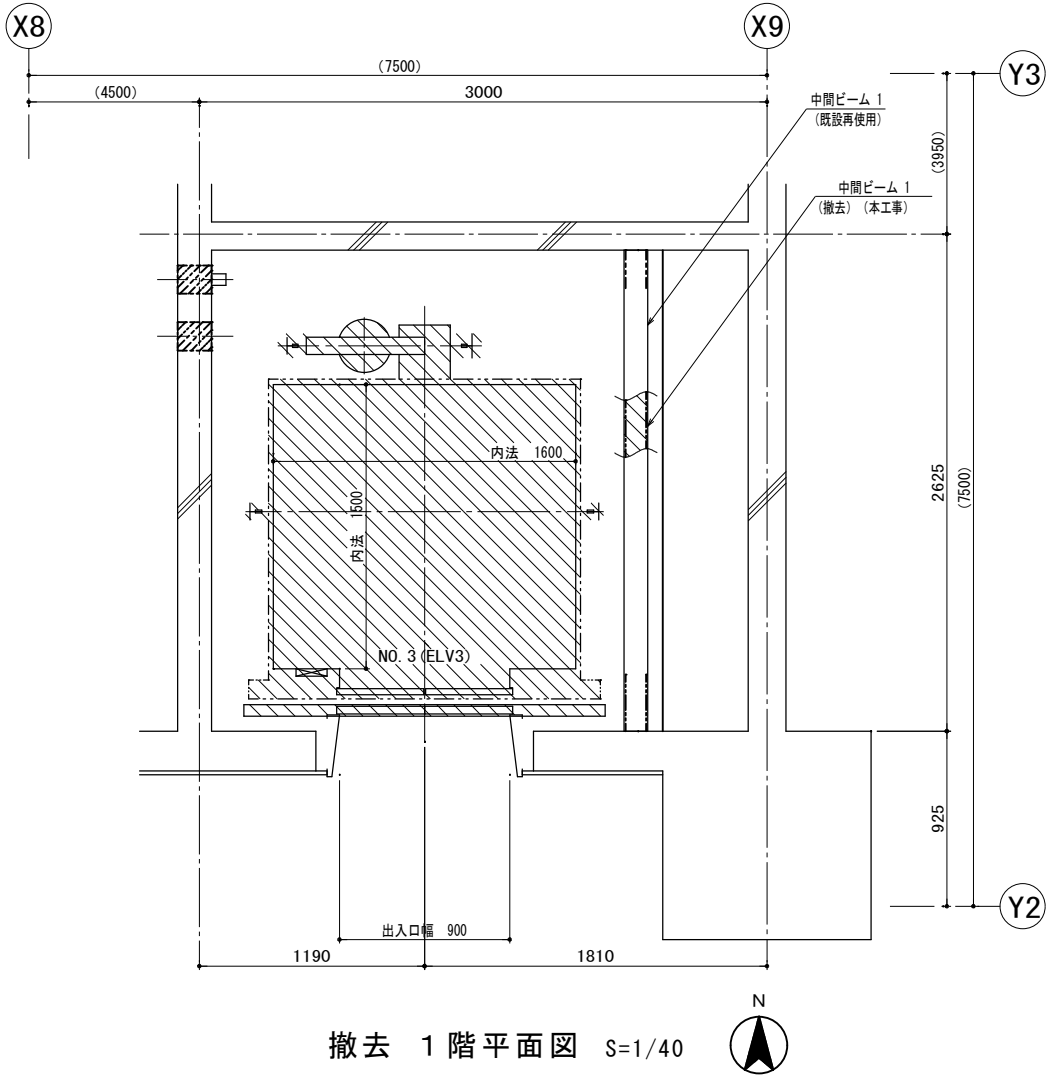
既存機器撤去部



撤去 機械室平面図 S=1/40

<凡例>

既存機器撤去部



撤去 1 階平面図 S=1/40

撤去 昇降路断面図 S=1/100

設計者 中村 安志
一級建築士登録 第284030号

〇市債 ノルテナがのエレベーター改修

工事設計図

発注図
R8. 01. 20

撤去 機械室平面図 1 階平面図外

令和 7 年度

図面番号
M-08

長野市建設部建築課